

令和7年8月1日

養鶏関係の皆様へ

株式会社ゲン・コーポレーション

第33回 ゲン養鶏スクールの開催について（ご案内）

拝啓 皆様ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、例年より次世代を担う養鶏関係の方々に多数受講していただき、大変ご好評をいただいております。ゲン養鶏スクールにつきまして、本年は 令和7年10月21日（火）～10月23日（木） の日程で開催いたしますので、ご案内申し上げます。貴社の若手職員等、このスクールに関心をお持ちの方々のご参加をお待ちしております。

なお、お申込み方法や開催要項等につきましては、下記 および（別紙1）、（別紙2）をご確認いただきますようお願いいたします。

敬具

記

《お申込み方法》 ※（別紙1）の開催要項もご確認をお願いします

準備の都合上、受講をご希望される方は、弊社ホームページ [<https://www ghen co jp/>] から「ゲン養鶏スクール申込」【8月20日(水) 午前10:00 から掲載予定】の入力フォームにアクセスしていただき、必要事項を入力して、お申込みいただくようお願いします。

申込期限は 令和7年8月29日（金） としますが、定員に達ししだい、受付は終了させていただきます のでご了承をお願いします。

お申込み時には、以下の内容について入力が必要です

- ◆ 参加者の所属する会社等の名称、郵便番号、住所、電話番号
- ◆ 参加者氏名、よみがな、性別、年齢、養鶏経験年数、
宿泊部屋の希望（禁煙または喫煙）、
鶏の取扱い（初生ひな心臓採血、翼下静脈採血、鶏体解剖）についての技術度
- ◆ E-mail アドレス（受付完了等のご案内に参加者にご連絡可能なアドレス）

以上

※ 高病原性鳥インフルエンザの発生状況等により、当スクールを延期、または中止することがありますので、予めご承知をお願いします。

ゲン養鶏スクールの開催に当たって

— 原初を大切に —

ゲン養鶏スクールは、ゲン・コーポレーションの創業者 所秀雄氏の以下の理念に基づいて開催しています。

新しいフロンティア

近年「量より質の時代」ということがよくいわれます。日本の畜産業、とくにニワトリ産業は大分前から成長・拡大の時期は過ぎ、今や成熟の時期に入っていると認められますから、「量より質」ということは実感をもって訴えるものがあります。つまり、成熟ということは何もすることがなくなった、フロンティア（新境地）は消滅した、という意味ではなくて、「質」の分野で多くの事がなされなければならず、そこに新しいフロンティアがあるということです。

ゲン養鶏スクールは、まさにそういうフロンティアに挑戦しようとする人に勉強と交流の場を提供するものです。われわれの産業で質的なフロンティア開拓とは、おそらく、日本型畜産、しかも国際的に通用するものを構築するということでしょう。そのためには2つのことが我々の姿勢として要求されます。

原初を大切に

1つは、原初を大切にすることです。原初というのは、原理的なことと初歩的なことの2つを含んでいます。とかく、人はこの2つを忘れて砂上に楼閣を築く愚をくり返しがちなものです。また、原理的なことや初歩的なことを軽く見る傾向もなくはありません。農場の生産現場において担当者が変わるにつれ、知らない間にこの原初が軽視されていく事例をみかけます。基本的な技術を大切に、原初を想起し、新フロンティアの開拓に備えたいものです。

時代の進歩に活眼

もう1つは、原初を忘れないことに加えて、絶えず進歩し変化する新しい技術、新しい経営手法、新しい消費者需要、新しい情報に注意を向け、上手にこれを取り入れるということです。ここ40年間我々の産業は、アメリカをはじめ畜産の先進国から多くのことを学び、応用してきました。日本型畜産といっても一人よがりではお話になりません。世界に通用し、国際的に競争力のあるものでなくてはなりません。これからは、技術も情報も国際的であり一層開かれた産業である必要があります。そして、将来予想される日本の条件にふさわしい畜産を築いていくことです。なかでも消費者あるいは実需者とどのように結ぶかが課題となるにちがいません。

担い手

どんな事業も人がつくり、人が支えます。日本の畜産も農業も人の知恵と汗がなくては築かれるものではありません。これからは、経営者だけでなく、次の世代を担う後継者、現場の担当者が真剣に生きた勉強をしなければならなくなっています。日本の畜産や農業を担う人がそこから育てることが期待されます。

ゲン養鶏スクールは、若い担い手に対し自己啓発と相互交流の機会を提供いたします。このような機会は1回や2回で足りるものではありません。このゲン養鶏スクールは、過去に32回開催され、すでにのべ2,000人以上の方々が受講され、それぞれの組織の中で中堅、中核としてご活躍されています。多くの方々からのご要望もあり、今年もゲン養鶏スクールを開催することになりました。「くりかえし」こそが「人作り」の鍵であるにちがいません。学習しては実践し、実践しては学習する、その繰り返しによって初めて知識が活かされる、知識が見識となり達識となる、といわねばなりません。

ゲン養鶏スクールが参加される方々に大いに役立つことを心から願っています。

(別紙 1)

第 33 回 ゲン養鶏スクール 開催要項

参加資格 採卵養鶏の基礎および応用を学習します。学習意欲のある養鶏関係者を対象とします。
原則として業務経験者に限ります。入社前の方はご遠慮ください。

開催日 令和 7 年 10 月 21 日(火) ~ 23 日(木) 2 泊 3 日
開催場所 岐阜グランドホテル : 岐阜市長良 648 (TEL:058-233-1111)

募集人員 72 名(予定)
※ お申込みが多数の場合は、一社(グループ会社含む)から 2 名までとさせていただきます。可能な限り多くの会社の方に受講していただきたいため、ご了承をお願いします。

申込方法 弊社ホームページ [<https://www ghen.co.jp/>] のトップページ NEWS(お知らせ)から、「ゲン養鶏スクールの申込」にアクセスしていただき、必要事項を入力してお申し込みいただきます。
お申し込み開始: 令和 7 年 8 月 20 日(水) 午前 10:00 から
お申し込み締め切り: 令和 7 年 8 月 29 日(金) まで
※ただし、定員に達しだい締め切ります
受付が完了された方につきましては、締め切り日から 2 週間以内にメールにて返信させていただきますので、連絡がない場合には、お問い合わせのほどお願いします。

プログラムおよび講師
(別紙 2) のとおり ※ただし、都合により変更する場合があります

参加費用 160,000 円(税込み) ※振込手数料はご負担をお願いします
(2 日間の宿泊代、2 回の朝食、昼食、夕食、およびテキスト代などを含みます)
※ 宿泊のお部屋は、複数人の相部屋となります。

振込方法等は、事務局からの受付完了の返信の際に、ご連絡いたします
また、受付完了後にキャンセルされる場合、キャンセル料をいただくことがございます

問合せ先 〒501-1132 岐阜市折立 296-1 株式会社ゲン・コーポレーション
ゲン養鶏スクール事務局 担当: 小川 まで
TEL: 058-234-0666 FAX: 058-234-0892 Email: y-ogawa@ghen.co.jp

テキスト他 各講義で使用するテキストや資料は、開催当日に配布いたします。配布物としてその他に、解剖ハサミセット(お持ち帰り用)や参考書籍等が含まれます。また、解剖実習で使用する器具等は、こちらで用意します。

第 33 回 ゲン養鶏スクール

開催日：令和 7 年 10 月 21 日(火)・22 日(水)・23 日(木)

会 場：岐阜グランドホテル

受 付：令和 7 年 10 月 21 日(火) 12:00 ～

プログラムと日程〔予定〕

第 1 日目 - 10 月 21 日(火)

(講師・敬称略)

12:55～	開校式、オリエンテーション	
13:15～14:25	鶏の生態(70 分) 弊社 技術情報部門	後藤 裕司
14:40～16:40	採卵鶏管理のポイント(120 分) 弊社 営業部門	広瀬 毅
16:50～18:20	鶏病と衛生管理(90 分) ワクチノーバ株式会社	鈴木 尋
19:00～	ウェルカムパーティー	

第 2 日目 - 10 月 22 日(水)

8:00～ 8:25	レビュー	
8:30～ 9:50	養鶏・鶏卵市場について(80 分) JA 全農たまご株式会社 東日本営業本部	中田 純司
10:05～11:45	鶏卵の知識(100 分) 京都女子大学 地域連携研究センター 株式会社エヌ・ビー・エル 鶏と卵の研究所	八田 一
11:45～13:00	昼食	
13:00～14:30	ワクチンの種類と特徴(90 分) ワクチノーバ株式会社	山田 恵
15:15～15:40	(バスにて 別会場に移動)	
15:45～17:45	解剖実習・正しい検査サンプルの採取方法(120 分) 弊社 生産部門	橘 亮介
17:45～18:10	(バスにて 岐阜グランドホテルに移動)	
19:00～	懇親会	

第 3 日目 - 10 月 23 日(木)

8:00～ 8:25	レビュー	
8:30～10:30	飼料と栄養(120 分) 中部飼料株式会社	池端 佑仁
10:40～12:10	農場管理の実際(90 分) 株式会社オリエンタルファーム	高野 信夫
12:10～12:20	修了式	
12:20～	昼食、その後 解散	